

令和7年度事業所における自己評価結果（重症心身障害：多機能型）

事業所名		児童支援事業所ぷらみんぼーと		公表日 令和8年3月25日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0	5	・安全に過ごせるよう、配置を変えら事をしている。 ・マットを移動して活用している。 ・狭いスペースをうまく工夫しながら行なっている。	・ものの整理をして、スペースの確保をする。 ・棚などの物品や倉庫の確保。 ・全員がマットに降りると狭い。部屋の中央にある柱で死角ができてしまう。 ※車いす10台が入り寝るスペースを作ると手狭になってしまう為、都度スペースを作っている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0	5	・安全に過ごせるように毎日職員体制を考えている。 ・お互いに声掛けし、児童から離れていることを知らせる。	・早急な人員確保 ・安全に対応するためにも見守りの人数が必要 ※基準人員を配置しているが、ゆとりをもった支援には職員数が必要。重心児の支援に興味を示してもらい取り組みを検討していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	・死角が多いため職員間で声かけを行っている。 ・入口、廊下は段差もなくバリアフリーになっている。	・物品などで補足できる箇所はおこなう。 ・部屋の中央に柱がある。ドアが狭いので車椅子の他、荷物の多い時はぶつかりやすい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・感染症対策、清潔を保つために、撤退した手指や、念入りの清掃をおこなっている。 ・マットを使い横になれる場所がある。 ・不潔になったらすぐに消毒できるようにアルコールクロスや手指消毒剤を常備している。	・工夫や、対策を深めるには、適切な人員の確保が必要。 ・物品等で補えるところの改善。 ・児童が自由に動き回れる場所が少ない。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0	5	・仕切りを使用するなどの工夫をしている。	・部屋の確保と静養室内の改善 ・療育での使用で部屋数が足りていない為、緊急で隔離できる場所も難しくなっている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	2	PDCAサイクルを行うために声かけをお互いに行っている。職員ミーティングで検討している。	・PDCAサイクルに対する捉え方が職員個々で異なるため、プロセスの見直しが必要。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	みんなで共有して改善しようと案を出しあっている。	・評価表の結果を話し合う時間が必要。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	職員ミーティングで話し合っている。	・話し合いやすい雰囲気づくりが必要。 ・話し合った結果が改善に繋がっているになりにくい為、会議の運営方法に課題がある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	実地調査後の意見を受け止め改善している。	問題意識を持つために気持ちにゆとりの持つ時間が必要。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・必要なタイミングに必要な研修を行なっている。	・曜日によっては研修に行けない日がある(児童の重症度や人数により)
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	・様々な方向性より考えて公表している。	・プログラム内容を意識できる時間の余裕が必要。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・説明と面談を行なっている。 ・こどもの卒後や保護者のニーズを確認した上で作成している。	・計画内容を実施する時間的な余裕が作れていない。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・毎月のモニタリングを行いチーム全体で共有している。	・計画内容の理解の浸透するまでに時間がかかっている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・モニタリングで話し合ったことや面談内容を共有しながら統一したケアを行っている	・学校終了時刻や人数により計画内容を丁寧を実施することが難しいことがある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・アセスメントを行っている。	・子ども個々に合った支援をするための行動観察の技術が必要。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	・こどもの卒後や保護者のニーズを確認した上で作成している。	・項目ごとに支援内容を定めているが、職員個々に支援計画に対する捉えができておらずわからない職員もいる。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	・毎月担当者が考え、こうした方が良いと話し合ったりしている	長期休暇時期などはプログラムの作成に追われる時もある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	・毎月担当職員を決め季節を取り入れた活動を実施している。	児童指導員・保育士でプログラムを作成しているため、わからないと回答も見られた。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	集団活動と共に個別でのプログラムを行っている。	・丁寧に行うためには、時間の余裕が必要
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	・朝のミーティングで共有している ・役割分担を確認し合いながら行っている。	・役割分担が把握しきれていない職員がいるため朝のミーティングでわかっているか確認する作業が必要。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	・シフトの関係で翌日に小さな気づきを共有している。	・勤務時間的に当日の振り返りは難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・日々の活動時の反応の記録を行い、経過をみて支援の検討を行っている。	・記録の書き方・記録を読み取り次の支援につなげる考え方を広げていく必要がある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・チームで問題を共有し、話し合っている。 ・毎月モニタリングを行い見直しを行っている	・モニタリングの必要性やそれまでに状態像の把握が難しい場合がある。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1	・チームでのプログラムの立案の中に取り入れている。	4つの基本活動がわからないとの回答があるためガイドラインを再度確認していく必要がある。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・一人一人に応じた丁寧な声かけ。 ・活動の場面や日常の場面で子ども自身が選択できる場面を作っている。	丁寧に行うためには、時間の余裕と人員が必要
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・必要に応じてサービス担当者会議を行うよう働きかけたり参加している。	開催される事はあるが回数が少ない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・地域のイベントの参加 ・必要に応じて退院カンファレンスに参加したりしている	相談支援事業所を中心に連携を取っているが関係機関とのかかわりがさほど多くない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	・学校の引き継ぎの時体調確認を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	・当事業所の児童発達支援を利用している児童に関しては共有できている。	・もっと情報共有があったらいいと思う
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	・家族の希望に応じて実施予定。	今年度卒業生がいらない為未実施。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	・中核的拠点施設のため児童発達支援センターとのかかわりは少ないが、地域との連携は行っている。	・連携作りの為に、世田谷区主催の研修などに参加している。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	・交流する機会を設けていない。	学校後に地域の子どもの関わる機会を設ける時間が作りにくい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	・所属長が参加している。	・世田谷区の自立支援協議会の特徴上、各職員の参加は難しい。 ・重症心身障害児の施設のイベントに参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・連絡帳や、メールを使い丁寧に伝えている ・面談で保護者の不安を聞いている	・丁寧に行うためには、時間の余裕と人員が必要
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		適宜相談を受けているが、ペアレントトレーニングとしては行っていない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	2	児童発達支援管理責任者が行っている。	利用開始時に対面で説明しているが、更新された内容は文章で伝えている。金額変更時の丁寧な説明方法が課題。

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点で踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1	丁寧な対応をする意識の共有	子どもの意志表示の読み取る力量を職員個々に高めていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	面談を行い、同意を得てサインを頂いている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	早い対応を心がけている	・度の職員も相談に応じるための力量を付けられるようにしていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	未実施	・交流する機会を今後検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	電話やメール、連絡帳でご意見を頂いている。速やかに対応しているため苦情に至ることは少ない。サービス向上委員会で体制を整えている。	・保護者が伝えやすい雰囲気づくりを今後もしていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	3	ぷらみんぼーとだよりで毎月発信している。	インターネットでの発信は少ないが、書面で伝えている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・個人情報において、ダブルチェックを行う	・丁寧に行うためには、時間の余裕と人員が必要
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・時間をかけて説明を丁寧にすることを意識している。 ・その子に合わせたコミュニケーションを図っている。	・子どもに合わせた伝え方・保護者が確実に目にする方法などを模索している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	センターとしてのうめとびあフェスタは地域住人が参加している。	事業所として開催していない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・訓練時は、児童に周知し、安心して行うことを心がけている ・防災や感染症を想定して訓練を行なっている	・訓練は行っているが保護者にマニュアルの周知までは行っていない。※利用開始時に注意事項として周知している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・シミュレーションは行っているが実際に避難までは行っていない	・センターとして行っているため、時間帯によっては事業所職員は参加していない。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	・看護師がてんかん発作やアレルギーの症状を聞き取りしている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・ご家庭と共有し、日々の活動に注意している ・医師の指示書まではもらっていないため保護者にアレルギー調査票を記載してもらっている	・診療情報提供書に、アレルギーの欄はあるが対応の欄がない(別紙の保護者からの意向はある)
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	・日々職員同士の声かけを行う	・安全計画は作成しているが職員に浸透しきっていない。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	3	・作成しており家族が手に取れる位置に置いてある。	・安全計画は作成しているが職員に浸透しきっていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・職員一人一人の意識を高められる様、小さな事にも問題意識を持って取り組むことを共有している。 ・朝の朝礼で共有している。	・ヒヤリハット件数の向上を目指しているが、報告書の記載が職員の業務負担に繋がっている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・研修を行う事で、意識を高めている。	・センターで行う研修と共に児童向けの虐待防止研修にも参加している。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	・職員で共有している。 ・同意書をもらっている。	